

財務省第10入札等監視委員会
令和2年度第4回定例会議議事概要

開催日及び場所	令和3年10月12日(火) 広島合同庁舎1号館会議室	
委員	委員 内田 喜久 (内田法律事務所 弁護士) 委員 山口 力 (広島大学大学院人間社会科学研究科 教授) 委員 中川 隆喜 (アイル監査法人 公認会計士)	
審議対象期間	令和3年1月1日(金) ~ 令和3年3月31日(水)	
契約の概要説明	審議対象期間における契約案件の概要	
抽出事案	2件	(備考)
競争入札(物品役務等)	1件	契約件名 : 事務用いすの購入 契約相手方 : 株式会社五興 : (法人番号 2240001003496) 契約金額 : 4,012,580円 契約締結日 : 令和3年2月16日 担当部局 : 中国財務局
競争入札(物品役務等)	1件	契約件名 : シュレッダーの購入 契約相手方 : 株式会社フォーデック : (法人番号 6240001014085) 契約金額 : 17,117,100円 契約締結日 : 令和3年2月15日 担当部局 : 広島国税局
委員からの意見・質問、それに対する回答等	下記のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

意見・質問	回答
<p>【抽出事案の説明及び審議】</p> <p>1 事務用いすの購入</p> <p>一者応札の理由について</p> <p>落札率が高い理由について</p> <p>2 シュレッダーの購入</p> <p>落札率が高い理由について</p> <p>応札者が少ない理由について</p>	<p>入札説明を行った業者は複数あったが、取引先との商品入荷価格の調整に時間を要し入札に間に合わない、自社の取引メーカーに同等品がない等の理由で応札を断念している。</p> <p>今後同様の調達を行う際は、公告期間の更なる延長による検討期間の十分な確保や特定のメーカーに限定していると受け取られないような工夫をするなど、改善に向けて取り組んでいきたい。</p> <p>本件については、取引実績のある複数の事務用機器の販売業者から参考見積を徴取し、最も低額な単価を採用して予定価格を積算している。落札業者は、参考見積を提出した業者であり、自らが提出した参考価格を基に入札した結果、高い落札率になったものと思われる。</p> <p>予定価格の算定に当たっては本体価格をベースに既往の調達状況等からの値引率を用いて算定している。直近では令和2年7月と令和2年11月に調達を実施しているため、市場の相場状況が見えてきたことによる結果と考えられる。</p> <p>入札に際しては、参加した2者以外に別に3者にも声掛けを実施したが、仕様要件を満たす応札物品証明の提出が難しい等により辞退となった。辞退者にヒアリングしたところ、仕様に定めた台数の確保が困難であるとの回答もあったことから、今後はスケールメリットも考えた上で、調達台数の検討を行っていきたい。</p>